



## 2026年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2026年5月15日

上場会社名 株式会社 関門海  
コード番号 3372 URL <https://www.kanmonkai.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 久美子

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 関口 弘一

TEL 072-349-9329

定時株主総会開催予定日 2026年6月23日

有価証券報告書提出予定日 2026年6月22日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	5,272	0.2	189	42.2	176	41.1	123	67.3
2025年3月期	5,264	4.9	327	31.2	300	46.1	378	14.3

(注) 包括利益 2026年3月期 117百万円 (68.9%) 2025年3月期 378百万円 (14.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	9.03		9.2	5.9	3.6
2025年3月期	27.60		34.4	7.6	6.2

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	2,710	1,407	51.9	102.77
2025年3月期	3,316	1,289	38.9	94.16

(参考) 自己資本 2026年3月期 1,407百万円 2025年3月期 1,289百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	203	137	689	774
2025年3月期	604	332	1,557	1,403

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期		0.00		0.00	0.00			
2026年3月期		0.00		0.00	0.00			
2027年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

### 3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,800	4.9	250		260		170		12.41
通期	5,250	0.4	180	4.9	155	12.3	120	3.0	8.76

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期	14,000,900 株	2025年3月期	14,000,900 株
期末自己株式数	2026年3月期	302,147 株	2025年3月期	302,147 株
期中平均株式数	2026年3月期	13,698,753 株	2025年3月期	13,698,753 株

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日 ~ 2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	5,176	0.0	185	43.4	178	40.7	106	71.8
2025年3月期	5,177	32.6	328	4.2	301	1.5	379	13.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	7.81	
2025年3月期	27.71	

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	2,698	1,407	52.1	102.74
2025年3月期	3,305	1,300	39.3	94.92

(参考) 自己資本 2026年3月期 1,407百万円 2025年3月期 1,300百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P3「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等の注記) .....	11
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におきましては、個人消費に回復は見られるものの物価上昇の継続による消費者マインドの下振れ等もある中、中東情勢の悪化により外食需要にも先行き不透明感が見られます。

当期の「玄品」店舗においては、国産うなぎのほぼ全店で販売開始や玄品45周年フェアの投入、6月の京都四条店、11月の京都烏丸店の新規開店、本町店での新業態ふぐ出汁のおでんカウンターをオープンしたほか、2025大阪・関西万博のORA外食パビリオン内にて出店を行いふぐ料理の魅力を世界中の方々に発信いたしました。本社工場においては、外部への販路拡大のほか店舗負担軽減のための本社工場での一括加工にも注力するため、人員の拡充を図り生産体制強化に取り組んでまいりました。

当社グループの主力事業である「玄品」等の直営店舗の売上高は、4,105百万円（前期比0.0%減）となりました。45周年フェアや「ふぐの日」などの節目に開催した各フェアや天然とらふぐコース、「うなぎ」を含むコース料理が売上高増加に寄与しましたが、中国本土からの旅行客の来店減少などもあり前期とほぼ同額となりました。

なお、直営既存店売上高は3,977百万円（前期比1.0%減）、当連結会計年度末の「玄品」直営店舗数は、新規開店2店舗、閉店2店舗により前期末と変わらず41店舗となりました。

「玄品」フランチャイズ事業におきましては、とらふぐ等の食材販売、ロイヤリティ等によるフランチャイズ売上高は328百万円（前期比4.7%減）、フランチャイズ店舗における国内既存店末端売上高は924百万円（前期比1.1%減）と前期を下回る結果となりました。なお、当連結会計年度末の「玄品」フランチャイズ店舗数は、3店舗減少し21店舗となっております。

その他の業態の当連結会計年度末の店舗数は6月に契約満了により店舗を閉店したため0店舗となりました。本部に係る売上高も含めた当連結会計年度の売上高は、本部の小売り・流通業界や食材卸業者への食材販売が増加したこと等により、売上高は837百万円（前期比3.2%増）となりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、5,272百万円（前期比0.2%増）となりました。

利益面においては、売上高は増加したものの、原材料費の高騰、45周年フェア等や本部に係る売上高の割合増加などによる原価率上昇に伴い、売上総利益は3,434百万円（前期比2.1%減）となりました。販売費及び一般管理費については、継続的な採用難の中、従業員待遇向上のための人件費や人手不足を背景とした臨時雇用者の人件費及び採用費高騰によるコスト増加やフェア等に伴う広告宣伝費、SEO・ME0費用が増加したため、3,244百万円（前期比2.0%増）となりました。以上の結果、営業利益は189百万円（前期比42.2%減）、経常利益は176百万円（前期比41.1%減）となりました。また、特別損失として減損損失31百万円、固定資産売却損6百万円等を計上したこと等のほか繰延税金資産の取崩しに伴う法人税等調整額（損）11百万円を計上したこと等により親会社株主に帰属する当期純利益は、123百万円（前期比67.3%減）となりました。

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において判断したものであります。

また、当社グループは店舗運営事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比較して606百万円減少し2,710百万円となりました。これは、主に流動資産の「その他」に含まれる未収消費税等の増加20百万円、有形固定資産の取得等による増加14百万円、商品及び製品の増加17百万円、売掛金の増加9百万円等の増加要因はあったものの、現金及び預金の減少629百万円、差入保証金の減少14百万円、繰延税金資産の減少11百万円等の減少要因によるものです。

#### (負債)

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末と比較して723百万円減少し1,303百万円となりました。これは、資産除去債務の増加20百万円、賞与引当金の増加4百万円等の増加要因はあったものの、短期借入金の純減額550百万円、長期借入金の返済による減少139百万円、買掛金の減少36百万円、未払金の減少9百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払消費税等の支払による減少8百万円等の減少要因によるものであります。

#### (純資産)

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末と比較して117百万円増加し1,407百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益の計上による利益剰余金の増加117百万円等によるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ629百万円減少し、774百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は203百万円（前期は604百万円の獲得）となりました。これは、仕入債務の減少31百万円、棚卸資産の増加16百万円、未払金の減少12百万円等の減少要因があったものの、税金等調整前当期純利益の計上137百万円、減価償却費95百万円、減損損失の計上31百万円等の増加要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は137百万円（前期は332百万円の獲得）となりました。これは、差入保証金の回収による収入12百万円等の増加要因あったものの、有形固定資産の取得による支出127百万円、長期前払費用の取得による支出13百万円、差入保証金の差入による支出9百万円等の減少要因によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は689百万円（前期は1,557百万円の使用）となりました。これは、短期借入金の返済による純減額550百万円、長期借入金の返済による支出139百万円の減少要因によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
自己資本比率 (%)	8.4	11.8	19.8	38.9	51.9
時価ベースの 自己資本比率 (%)	71.6	65.4	83.9	90.9	110.7
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	12.2	3.2	8.0	2.4	3.6
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	8.2	32.3	12.0	22.8	11.6

(注) 1. 上記指標の計算式は以下のとおりであります。

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、ロシア・ウクライナ問題や中東情勢などが及ぼす影響は不透明であり来期の見通しについては保守的に見積もっております。当期においてオープンした京都の2店舗が1年を通して寄与することや、夏季の「うなぎ」料理への注力、大幅に来日者が減少している中国本土以外の訪日外国人観光客へのアプローチの強化に取り組むほか、本部では引き続き食材・加工品等の外部流通業者等への販路拡大を今後も進めてまいります。また、コスト環境は構造的に高い水準ではありますが、当社グループの企業理念の根本である「人づくり」のため従業員満足度向上等への経費負担を見積もりながら、生産性向上への取組を進めてまいります。

以上の状況を勘案し、当社の次期の業績につきましては、売上高5,250百万円、営業利益180百万円、経常利益155百万円、親会社株主に帰属する当期純利益120百万円を見込んでおります。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの事業は現在ほぼ日本国内でおこなっており、日本基準を採用することとしておりますが、今後の海外での事業展開の拡大や、外国人株主比率の推移及び国内他社のIFRS(国際財務報告基準)の採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討を進めていく方針であります。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,403,968	774,422
売掛金	261,397	271,324
商品及び製品	554,855	572,534
原材料及び貯蔵品	19,326	17,908
その他	70,724	83,535
貸倒引当金	△251	△191
流動資産合計	2,310,021	1,719,533
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,093,723	1,821,861
減価償却累計額	△1,646,859	△1,346,610
建物及び構築物（純額）	446,863	475,250
機械装置及び運搬具	100,696	104,015
減価償却累計額	△67,599	△78,919
機械装置及び運搬具（純額）	33,097	25,096
その他	699,986	559,367
減価償却累計額	△659,557	△524,781
その他（純額）	40,429	34,585
有形固定資産合計	520,390	534,932
無形固定資産		
その他	13,269	10,886
無形固定資産合計	13,269	10,886
投資その他の資産		
投資有価証券	18,552	11,670
差入保証金	261,586	246,620
繰延税金資産	182,668	170,699
その他	10,493	16,629
投資その他の資産合計	473,301	445,619
固定資産合計	1,006,960	991,438
資産合計	3,316,982	2,710,971
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	153,339	117,300
短期借入金	900,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	139,980	139,980
未払金	221,826	212,039
未払法人税等	1,974	1,873
賞与引当金	96,720	100,800
株主優待引当金	8,451	9,787
その他	87,588	75,681
流動負債合計	1,609,880	1,007,462
固定負債		
長期借入金	390,030	250,050
その他	27,249	45,691
固定負債合計	417,279	295,741
負債合計	2,027,160	1,303,204
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	656,201	656,201
利益剰余金	909,543	1,033,277
自己株式	△288,020	△288,020
株主資本合計	1,287,723	1,411,458
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	121
為替換算調整勘定	2,098	△3,812
その他の包括利益累計額合計	2,098	△3,690
純資産合計	1,289,822	1,407,767
負債純資産合計	3,316,982	2,710,971

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	5,264,115	5,272,187
売上原価	1,755,598	1,837,917
売上総利益	3,508,516	3,434,270
販売費及び一般管理費	3,180,930	3,244,898
営業利益	327,585	189,371
営業外収益		
受取利息	772	1,962
補助金収入	-	3,714
受取保険金	-	3,241
差入保証金回収益	2,000	2,325
その他	3,479	4,421
営業外収益合計	6,251	15,665
営業外費用		
支払利息	25,479	18,776
支払手数料	5,586	5,575
その他	2,766	3,993
営業外費用合計	33,832	28,344
経常利益	300,005	176,691
特別利益		
固定資産売却益	-	372
新株予約権戻入益	58	-
特別利益合計	58	372
特別損失		
固定資産除却損	-	1,931
固定資産売却損	4	6,161
店舗閉鎖損失	2,232	-
減損損失	6,736	31,106
特別損失合計	8,974	39,200
税金等調整前当期純利益	291,088	137,864
法人税、住民税及び事業税	2,114	2,227
法人税等調整額	△89,048	11,902
法人税等合計	△86,933	14,129
当期純利益	378,022	123,734
親会社株主に帰属する当期純利益	378,022	123,734

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	378,022	123,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	121
為替換算調整勘定	865	△5,911
その他の包括利益合計	865	△5,789
包括利益	378,888	117,945
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	378,888	117,945
非支配株主に係る包括利益	-	-

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,000	656,201	531,520	△288,020	909,700
当期変動額					
新株予約権の失効					
親会社株主に帰属する当期純利益			378,022		378,022
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計			378,022		378,022
当期末残高	10,000	656,201	909,543	△288,020	1,287,723

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	1,233	1,233	58	910,992
当期変動額				
新株予約権の失効			△58	△58
親会社株主に帰属する当期純利益				378,022
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	865	865		865
当期変動額合計	865	865	△58	378,829
当期末残高	2,098	2,098	-	1,289,822

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,000	656,201	909,543	△288,020	1,287,723
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			123,734		123,734
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計			123,734		123,734
当期末残高	10,000	656,201	1,033,277	△288,020	1,411,458

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	-	2,098	2,098	1,289,822
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益				123,734
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	121	△5,911	△5,789	△5,789
当期変動額合計	121	△5,911	△5,789	117,945
当期末残高	121	△3,812	△3,690	1,407,767

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	291,088	137,864
減価償却費	85,998	96,941
長期前払費用償却額	6,737	7,178
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△60	△60
賞与引当金の増減額 (△は減少)	59,136	4,080
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	△7,669	1,336
支払利息及び社債利息	25,479	18,776
減損損失	6,736	31,106
売上債権の増減額 (△は増加)	△12,791	△9,926
棚卸資産の増減額 (△は増加)	304,665	△16,260
未収入金の増減額 (△は増加)	7,855	16,402
仕入債務の増減額 (△は減少)	△69,887	△31,029
未払金の増減額 (△は減少)	△20,211	△12,596
その他	△46,249	△22,394
小計	630,830	221,418
利息及び配当金の受取額	772	1,962
利息の支払額	△26,537	△17,619
法人税等の還付額	1	-
法人税等の支払額	△1,026	△1,974
営業活動によるキャッシュ・フロー	604,039	203,787
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	450,000	-
有形固定資産の取得による支出	△118,886	△127,788
有形固定資産の売却による収入	1,681	1,673
無形固定資産の取得による支出	△621	-
差入保証金の回収による収入	9,137	12,147
差入保証金の差入による支出	△4,375	△9,859
長期前払費用の取得による支出	△4,827	△13,628
その他	△37	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	332,071	△137,442
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,384,874	△550,000
長期借入れによる収入	500,000	-
長期借入金の返済による支出	△672,616	△139,980
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,557,491	△689,980
現金及び現金同等物に係る換算差額	865	△5,911
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△620,514	△629,545
現金及び現金同等物の期首残高	2,024,483	1,403,968
現金及び現金同等物の期末残高	1,403,968	774,422

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは店舗運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高に占める割合が10%を超える顧客がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高に占める割合が10%を超える顧客がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

当社グループは、店舗運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

当社グループは、店舗運営事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）	当連結会計年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）
1株当たり純資産額	94.16円	102.77円
1株当たり当期純利益	27.60円	9.03円

（注）1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （2025年3月31日）	当連結会計年度 （2026年3月31日）
純資産の部の合計額（千円）	1,289,822	1,407,767
純資産の部の合計額から控除する金額（千円）	-	-
（うち新株予約権（千円））	(-)	(-)
普通株式に係る期末の純資産額（千円）	1,289,822	1,407,767
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の 数（株）	13,698,753	13,698,753

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）	当連結会計年度 （自 2025年4月1日 至 2026年3月31日）
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	378,022	123,734
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（千 円）	378,022	123,734
普通株式の期中平均株式数（株）	13,698,753	13,698,753

（重要な後発事象）

該当事項はありません。